

坂出市基礎データ

人口:50,624人(令和2年10月国勢調査人口確定値)
面積:92.49平方キロメートル

坂出市における主な公共交通概要

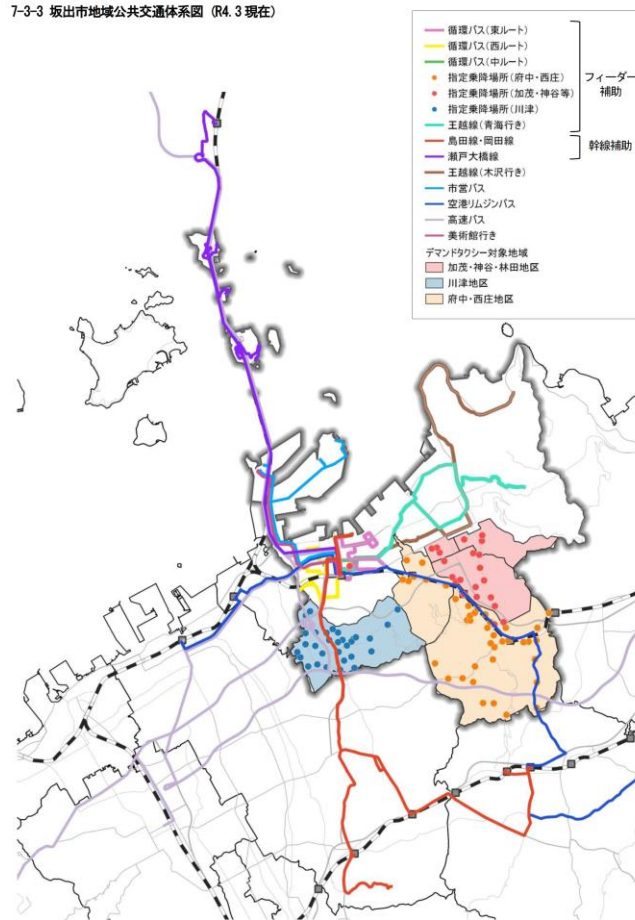
- 鉄道 JR予讃線・瀬戸大橋線
(坂出駅、八十場駅、鴨川駅、讃岐府中駅)
- バス・デマンドタクシー
(幹線)
 - ・島田・岡田線:JR坂出駅を起点とし、坂出市川津町を經由して丸亀市の富士見坂団地・ニューレオマワールドまで行く路線
 - ・瀬戸大橋線:JR坂出駅を起点とし、島しょ部を經由して、倉敷市児島まで運行する路線
- (フィーダー)
 - ・坂出市循環バス:東ルート、西ルート、中ルート
 - ・王越線(青海行き)路線バス:大屋富経由、高屋経由
 - ・デマンド型乗合タクシー:加茂・神谷等地区、川津地区、府中・西庄地区
- (その他)
 - ・王越線:JR坂出駅を起点とし、坂出市王越町を經由して、木沢まで行く路線
 - ・市営バス瀬居線:JR坂出駅から瀬居島に向かう路線バス(自家用有償運送)

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

坂出市の公共交通ネットワーク図

7-3-3 坂出市地域公共交通体系図 (R4.3現在)



坂出市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和4年度)

協議会の構成員

香川県 坂出市 琴参バス(株) 四国旅客鉄道(株)
タクシー事業者三社 学識経験者 市連合自治会長
香川運輸支局 坂出警察署 社会福祉協議会 商工会議所
老人クラブ連合会

前年度の事業評価における課題

- ・感染症対策を引き続き行うとともに、モビリティマネジメントに取り組み、利用促進を図る必要がある。
- ・地域公共交通計画策定にあたって調査する地域のニーズや課題についての分析を行い、利便性向上のための検討を行う必要がある。

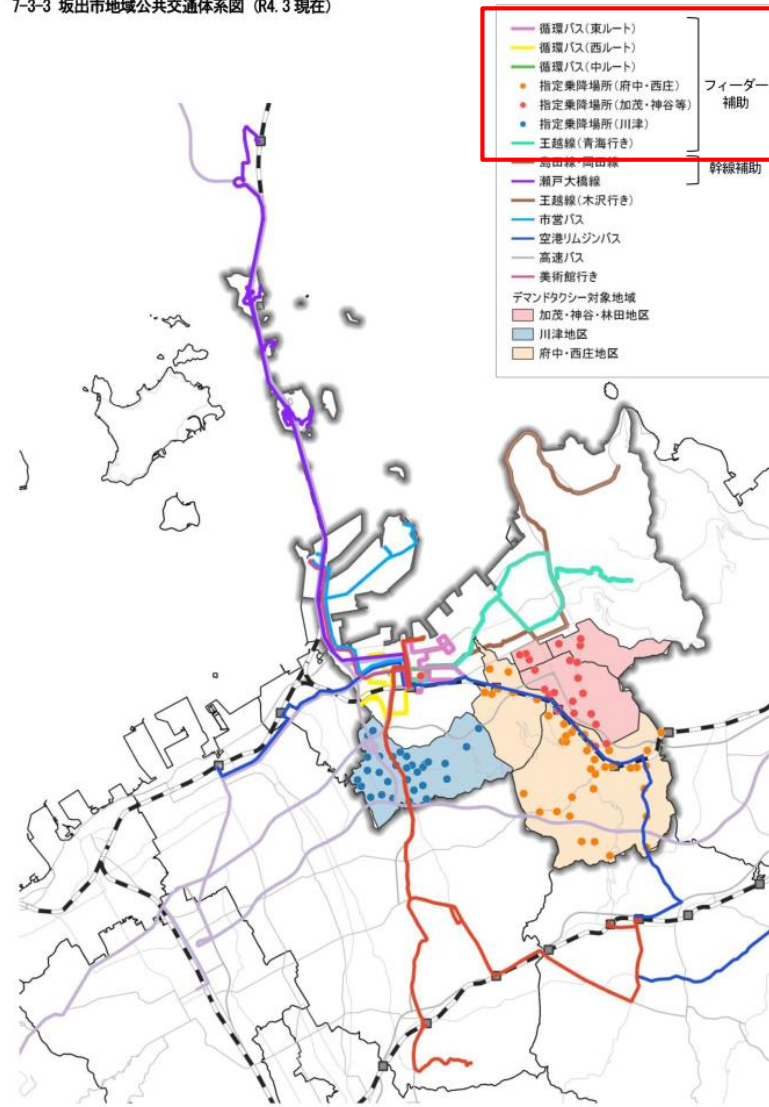
定量的な目標・効果

- 循環バス(東ルート・西ルート・中ルート)
(目標)東ルート:4.6人/便・86.3人/日
西ルート:3.3人/便・63.7人/日
中ルート:2.0人/便・26.0人/日
(効果)市街地における主要施設へのアクセスが高まる。
- 青海行き路線バス
(目標)大屋富経由:12.0人/日、高屋経由:24.1人/日
(効果)公共交通空白地域における特に高齢者の通院・買い物のための移動手段の確保が図れる。
- デマンド(府中・西庄地区、加茂・神谷等地区、川津地区)
(目標)加茂・神谷等地区:6.3人/日、川津地区:2.5人/日、
府中・西庄地区:9.6人/日
(効果)公共交通空白地域における特に高齢者の通院・買い物のための移動手段の確保が図れる。

※目標値は、R3.6の生活交通確保維持改善計画の目標値

フィーダー系統図

7-3-3 坂出市地域公共交通体系図 (R4.3 現在)



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- (共通)
- ・地域公共交通計画策定に当り、住民アンケートによるニーズ調査や認知度調査を行い、課題を整理した。
- (バス)
- ・利用促進、利用層の拡大のために、車内での児童画を展示したり、幼稚園、保育園児に向けての「バス乗り方教室」を実施した。
 - ・商店街のイベントにおいて、バスの乗り方教室やペーパークラフト教室を実施した。
 - ・GTFS-JPを整備し、Googleマップにて路線バス検索ができるように利便性の向上を図った。
- (デマンド)
- ・該当住民に対して利用案内チラシの全戸配布を行った。

自己評価

事業実施の適切性

- (循環バス)
- 市街地における、主に公共施設、商業施設、総合病院へのアクセスの利便性が確保されている。
- (青海行き路線バス)
- 公共交通空白地域における、主に高齢者を対象とした通院・買い物のための交通の足が確保されている。
- (デマンド)
- 公共交通空白地域における、主に高齢者を対象とした通院・買い物のための交通の足が確保されている。

「定量的な目標・効果」の達成状況

- (循環バス)
- 東ルート: 目標4.6人/便・86.3人/日に対し、実績4.2人/便・78.9人/日
西ルート: 目標3.3人/便・63.7人/日に対し、実績3.4人/便・64.9人/日
中ルート: 目標2.0人/便・26.0人/日に対し、実績1.2人/便・15.3人/日
- (青海行き路線バス)
- 大屋富経由: 目標12.0人/日に対し、実績8.1人/日
高屋経由: 目標24.1人/日に対し、実績16.0人/日
- (デマンド) ※運行した日のみを運行日数分母として数える。
- 加茂・神谷等地区: 目標6.3人/日に対し、実績5.2人/日
川津地区: 目標2.5人/日に対し、実績1.8人/日
府中・西庄地区: 目標9.6人/日に対し、実績6.4人/日

今後の事業に向けた改善点

- ・PDARUサイクルを着実に実施し、地域公共交通計画の推進を図る。
- ・従来の協議会に加え、計画推進にあたっての詳細な検討・分析のために分科会を設置し、事業評価や今後の具体的取組方針、計画見直しの必要性等を検討する。
- ・地域の主体性を高めるため、広く市民に公共交通に関心を持ってもらえる取組を推進する。
- ・バスロケーションシステムを導入し、広く市民や来訪者がバス情報にアクセスできる環境を整備するとともに、乗降データ可視化システム導入により、バス停別の乗降データを把握して、路線再編等に活用する。
- ・引き続き坂出市高齢者運転免許証自主返納支援事業の申請に来庁する高齢者に対し、公共交通をPRする。
- ・引き続き感染症対策を実施して、安心して利用できる公共交通をPRする。

その他PRポイント

- ・商店街のイベントチラシにおいて、バスを利用してのイベント来場を呼び掛けている。
- ・バス路線で GTFS-JPを整備し、Googleマップにて路線バス検索ができるように利便性の向上を図った。
- ・坂出市公式twitterを活用し、公共交通のPRに取り組んだ